

令和6年度第4回 宗像市市民文化・芸術活動審議会次第

日 時	令和6年11月27日(水) 10:00~12:00	
会 場	宗像市役所 北館 202会議室	
出席者	委員	□原 ■大澤 ■吉田 ■秦 ■牟田 ■境 □福間 (敬称略)
	事務局	■大塚 ■萩野 ■高尾 ■井上

(1) 「第3次総合計画」完成版について

井上:総合計画「誰もが認め合い、力を合わせ、笑顔と活力にあふれるまち」をご覧いただきたい。前回9月の審議会では、みなさんに内容の最終確認をしていただき、担当課に提出をした。ほかの課の計画と統一するため、レイアウトの修正や言葉の言い回し方の修正を受け、お手元にあるこの形で完成とする予定である。

(2) 「文化芸術の推進によるまちづくりアクションプラン(仮称)」の策定について

【前回の審議内容の修正点】

井上:まず、前回審議した内容の修正点から説明する。5と6番の統合案について目標値または成果指標で、前回は③の見え消しの内容について審議いただいた。しかし、審議の中で、修正案の文章だと、宗像ユリックスのバリアフリー化や宗像ユリックスの情報発信の工夫という表現になっており、情報発信の工夫は宗像ユリックスだけに限る必要はないという意見をいただいた。そのため、③と分けて④で「宗像ユリックス、市内の文化芸術の情報発信の工夫を行い、アクセシビリティを向上」という目標値はいかがか。という意見をいただき、赤字③④の内容としたがいかがか。

全員:これで良い。

井上:22番「コーディネート機能の充実」という事業名に対し、目標値または成果指標を黒字の①のみ記載していた。しかし、どのようなことを行うのかクリアにした方がいいというご意見をいただいた。皆さんに前回審議していただいた内容、赤字②、③を追記した。併せて、25番「文化芸術の情報の整備と活用」の文化芸術のづくり手、支援者のデータベースの作成や、27番「文化芸術サロンの設置」は、この22番の「コーディネート機能の充実」と密接する内容であるという話になった。そのため、22番で25・27番の内容を補い、25番・27番の2つの項目は削除とさせていただく。

秦:目標値または成果指標に記載している内容は市がすることなのか

井上:そうである。

秦:個人や団体がコーディネートの役割で支援している状態を目指すことに対して市が実施することはあるのか。この項目の意図は、発信者のすそ野を広げようということであり、やりたい人がい

る時に市が支援することですそ野が広がっていくと思う。

高尾：発信者のすそ野が広がるように市が支援するということが、発信者が一緒にやってくれる方が良い形であると思う。この内容を文言で入れることができれば良いと考えている。

大澤：目標値または成果指標にこれ以上の内容を詰め込むと逆に分かりづらいと思う。アクションプランは長期で取り組むことなので、今後実施しながら、毎年内容を見直していく方が良いのではないかと。

高尾：では、22番は修正なしとする。今後、実施しながら内容の見直しを検討する。

井上：次に33番について説明する。前回、新規追加で提案したが、審議の中で、宗像市の文化芸術の推進によるまちづくりを実施する上で、本当にeスポーツが必要なのかという意見をいただいた。その後、事務局で審議し、削除するということが決定した。

大塚：スポーツ推進計画の「だれもがスポーツを楽しむことができる環境づくり」という施策の1つに、スポーツを始めるきっかけとして e スポーツの普及について研究するという目標を立てた。その中で、e スポーツをきっかけにスポーツをする人を増やすような取り組みができないかと考えている。

全員：これで良い。

【数値目標の確認】

井上：次にアクションプランの「数値目標」を5つ設定したので説明させていただく。まず、3番「子育て世代向けの文化芸術事業」について、宗像ユリックス主催事業で年10企画以上実施(うち新規事業 年1企画以上)と設定した。令和5年度9企画実施(新規事2企画実施)を参考に設定した。総合計画の KPI でも、子育て世代に特化して目標値を設定しているため、この項目に関しても数値目標を定めたいと考えている。

大澤：なにを実施するかにもよるが、継続していく事業も必要である。求める成果で企画数を追求するよりも参加者数の動向が大切であると思う。例えば、ワークショップにおいて、参加者の層の中で新たにワークショップに参加してくれる人の割合が増え続けるのであれば良いと思う。

牟田：市職員は参加者数を意識して事業の組立をしているのか。

高尾：ここでの目標はユリックスのことを示しているが、事業報告をもとに以降、同事業を継続の有無について市とユリックスで協議している。

萩野：公共事業の文化施策になるため、教育的、福祉的な効果があるような事業は参加者数が少なくても続けていくという判断材料はもっている。

井上：3番「子育て世代向けの文化芸術事業」の数値目標については、大澤先生からの意見をもとに事務局で再度協議する。次に、4・13番統合案「小学生・中学生の文化芸術活動を活性化させるための事業」の数値目標を中学文化部活動 地域移行の種目数5年間で5種目

以上(参考:令和5年度0種目)とした。現状、来年度から吹奏楽部、再来年度から美術部が部活動地域移行することが決まっている。そのほかに、新聞部や放送部など検討している段階で、事務局としてもこの事業に注力していきたいと考え、このような目標数値に設定した。

萩野:現在、受け皿がない状態なので、まずは受け皿をつくることを目標とさせていただきたい。

牟田:受け皿に対して地域への説明はおこなっているのか。

萩野:文化部活動は、市とユリックスが責任を持って協働して行う予定。吹奏楽でいえば、楽器の移動や音響の問題などを考えると地域で行うのは難しいと考えている。

秦:学校間の格差はあるのか。

萩野:現在、検討中だがすべての学校で実施することは検討していない。

秦:吹奏楽部でいえば、来年度から地域移行できない学校があった場合はどうするのか。

萩野:地域移行のやり方もいくつかパターンがあり、あと2~3年は部活動がなくなるので、部活動連携型でやりたいという声もある。その場合は、その学校が実施しやすいやり方で、市が支援していきたいと考えている。

大澤:部活動地域移行が行われたと判断する基準は定まっているのか。

萩野:本市の場合は、令和9年8月までに学校部活動を廃止すると決まっている。また、顧問のようなカタチで全中学校に地域の指導者を派遣することはしない。ほかのカタチで部活動地域移行を運用していく。

秦:将来的に中学生からこのような部活がしたいと申出があった場合、地域移行の中から指導者を見つけて実施できれば市は支援していくということか。

萩野:そうだ。

井上:次に、5・6 番統合案「障がい者の文化芸術活動の推進」に関して赤字のとおり設定した。本市は、令和4年度から宗像ユリックスで障がい者アート展を実施し、今年で3年目である。障がい者アート展は、作家さんの収入向上や文化芸術活動を通じた社会参加を推進する事業であり、障がいのある方が活躍できる場の提供を今後も行っていきたいという思いで、数値目標を設定した。

大澤:障がい者の文化芸術の発表機会があるなら鑑賞機会もある。そのため、発表・鑑賞機会の提供と記載してはいかがか。

井上:そのとおり修正する。次に、24番「地元アーティスト活動促進・活用事業」の数値目標を宗像ユリックス主催事業で年1企画以上実施とした。令和5年度に1企画(宗像祭2023)を実施した。今年度は、12月から2月まで福岡県立美術館で中村研一琢二の展示会が行われ、開催に合わせユリックスでは、宗像市にある中村研一琢二生家美術館の館長から作品の説明や歴史を話すトークショーを行った。9月には宗像出身の映画監督 武藤将胤さんが

宗像ユリックスで、映画「NO LIMIT, YOUR LIFE」の舞台挨拶、映画上映を行った。今後地元アーティストを積極的に活用し、文化芸術振興をしていきたいという思いで数値目標値を年1企画以上と設定した。

秦：宗像は出光佐三さんの出身地であり美術館もある。美術館と宗像市が連携して、地元出身の名士を集めた美術展もできたら良いと思う。そのため、目標値または成果指標の②はアーティスト等の活用・支援としてはいかがか。

井上：そのとおり修正する。次に28番「文化芸術ギャラリー」の数値目標について説明する。宗像ユリックスの市民ギャラリーという部屋があり、この部屋は、文化芸術活動に取り組んでいる方の作品を発表する場として無料で貸出している。1ヶ月を前半と後半に分け予約ができ、1年間で24回貸出しをしている。令和4年、令和5年とも24回運用できており、目標値は9割の22回と設定した。

牟田：希望者が増えた場合はどうするのか。

高尾：近年、希望者が増え始めているため抽選や、1回の実施期間を短縮して募集するなど工夫が必要だと考えている。

井上：28番「文化芸術ギャラリー」の数値目標についてはこのままとする。

【効果の確認】

※以降の内容について以下のとおり表現する※

- (1) 宗像ユリックスを中心とした鑑賞機会の確保
 - (2) 市民文化芸術活動の体験・発表機会の充実、
 - (3) 文化芸術活動を行う個人や団体の育成支援
 - (4) 市の魅力となる文化芸術の創出
 - (5) 文化芸術に関する学校・地域との連携
- ◎ 最も期待される効果
 - 期待される効果
 - △ 付帯的な効果

井上：1番「幅広い文化芸術の鑑賞事業」は、(1)を◎、(4)を△としたがいかがか。

全員：そのとおりで良い。

井上：2番「文化講座の開催」を(2)を◎、(3)を△としたがいかがか。

全員：そのとおりで良い。

井上：3番「子育て世代向けの文化芸術事業」(1)を◎、(2)を○としたがいかがか。

大澤：この事業は、市の魅力となる事業になってほしいと思うので、(4)に△をつけてはどうか。

井上：そのとおり修正する。4・13番の統合案「小学生・中学生の文化芸術活動を活性化させるた

めの事業」は、(2)を○、(5)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:5・6番統合案「障がい者の文化芸術活動の推進」は、(1)を△、(2)を○、(3)を◎としたがいかがか。

秦:令和8年度に市内に特別支援学校ができる。そのため、(5)も視野にいれておくと良いと思う。

井上:事務局で再度審議させていただく。7番「日常的に文化芸術に接する環境の整備」は、(2)を△、(4)を◎、(5)を△としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:8番「大規模イベント」は、(1)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:9・23番統合案「伝統文化の継承」は、(1)を△、(2)を○、(3)を◎、(5)を△としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:11・12番の統合案「学生・生徒の文化芸術事業への参加」を(2)を○、(5)を◎としたがいかがか。

大澤:(3)にも当てはまると感じたがいかがか。

井上:事務局で再度協議させていただく。14番「おなかつ芸術祭」、15番「おなかつ文化祭」は、(1)を△、(2)を◎、(3)を○としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:16番「おなかつ吹奏楽祭」は、(2)を◎、(3)を△、(5)を○としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:17番「おなかつこども芸術祭」は、(2)を◎、(3)を○としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:18番「吹奏楽部員音楽指導」は、(4)を○、(5)を◎としたがいかがか。

大澤:市の魅力となる文化芸術に期待を寄せるのは評価としてどうなのかと疑問に思う。

萩野:本市は、音楽があふれるまちとして様々な取り組みを行ってきたが、それが吹奏楽に特化する

とは言えない。それよりは、(3)が○ではないか。

井上:そのとおり修正する。19番「国民娯楽の体験及び発表の機会の充実」は、(2)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:20番「文化芸術活動事業補助金」は(3)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:22番「コーディネート機能の充実」は(3)は◎としたがいかがか。

大澤:この事業は期待する効果として、地域との連携にコーディネーターの役割があると思う。

井上:(5)を○とする。24番「地元アーティスト活動促進・活用事業」は、(1)を○、(4)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:26番「デジタル技術を活用した情報発信」は、(3)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:28番「文化芸術ギャラリー」は、(1)を◎、(2)を◎、(4)を○としたがいかがか。

大澤:鑑賞機会の確保と発表機会の充実が同じ効果になっているが、発表機会の充実の方が優先度高いと思う。そのため、鑑賞機会の確保は○で良いのではないか。

井上:おっしゃるとおりだ。そのとおり修正する。29番「宗像ユリックスの文化芸術交流における広域的な拠点化」は、(1)を◎、(2)を○、(3)を△としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:30番「企業等との連携事業」は(5)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:31番「国際交流による文化芸術活動の推進」は、(2)を△、(4)を◎としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

井上:32番「文化芸術の推進によるまちづくりアクションプラン(仮)の策定」は(1)～(5)すべての項目を○としたがいかがか。

全員:そのとおりで良い。

(3) 宗像市文化芸術振興条例の一部改正について

井上:令和7年4月までに2点修正を検討している。1点目、宗像市文化芸術振興条例第2条第1項に文化芸術に関することが羅列してあるが、文化庁の文化芸術基本法では、このほかに文学やメディア芸術も明記されている。今後、時代の変化とともにほかの分野も文化芸術に追加される可能性があるため、この書き方を「文化芸術は文化芸術基本法(平成13年法律第148号)に基づくものとする。」という表現に変更する予定。2点目は、第7条の文化芸術振興ビジョンについてだ。今後は、ビジョンは廃止し、総合計画に1本化される。ここに総合計画で定めている旨を記載するか、削除するか現在、担当課と協議中である。